電力周辺関連事業

J-POWERグループは、電気事業の円滑かつ効率的な遂行をサポートする事業を展開しています。具体的には電力設備の設計・施工・点検保守・補修や、燃料や石炭灰に関する港湾運用、石炭の輸入・輸送など、電気事業にかかわる設備の運営に必要な周辺事業が含まれます。

石炭調達

J-POWERグループは、主に豪州やインドネシアから石炭を輸入しています。そのうち豪州では子会社を通じて3つの炭鉱プロジェクトの権益を保有しています。

世界の石炭需給は、中国・インドをはじめとする新興国の需要や

LNGなどの石炭以外のエネルギー資源動向、その他地政学的要因などによって大きく変動します。こうした中にあって、当社は火力発電用燃料としての石炭を長期安定調達すべく、炭鉱権益など上流部分へ関与するとともに、多様な調達ソースを確保しています。

社会課題

- •電力の安定供給
- ▼エネルギー自給率の低い日本に おける安定的な燃料調達

J-POWERグループが提供する価値

- ●長年の電力設備保守技術が支える発電所の安定的な運転による電力安定供給への貢献
- ●多様な調達ソースの確保による長期で安定的な燃料調達を行い、ベースロード電源としての石炭火力を支える

権益を保有している炭鉱の位置図 (2020年3月末現在)



炭鉱プロジェクト (2020年3月末現在)

炭鉱名	所在地	積出港	2019年生産量	当社取得権益*	出炭開始年
クレアモント	クイーンズランド州	ダーリンプルベイ港	1,139万t	22.2%	2010年
ナラブライ	ニューサウスウェールズ州	ニューキャッスル港	568万t	7.5%	2012年
モールス・クリーク	ニューサウスウェールズ州	ニューキャッスル港	893万t	10%	2014年

^{*}連結子会社であるJ-POWER AUSTRALIA PTY. LTD. を通じて出資しています。